

日七月三



多門師團長を迎へて 壯嚴な勇士の慰靈祭 今日松ヶ岡公園忠魂碑前で 禮拜者數千に及ぶ盛儀

全町の歓迎裡に 多門將軍平入り

まづ驛頭で遺族を慰問

われらの師團長多門將軍は今、七日前十時三十分、驛頭で遺族を慰問し、遺族達ははげしく感涙して香奠を伏し拜んでゐた。將軍はそれより自動軍にて除隊して、沿道に排列した各種の団体、小學生中等學校生徒、各町村長、町村議名譽職等の歓迎に答へ更に驛頭に出迎へた。郡出身事變戦死者遺族十、一名に對し懇ろに慰問の言葉、きの中を松ヶ岡公園に向つた。

多門師團長を迎へて 壯嚴な勇士の慰靈祭

今日松ヶ岡公園忠魂碑前で 禮拜者數千に及ぶ盛儀

滿洲事變殉難の勇士左記十一、靈に對する慰靈祭は既報の如く、今日午前十一時から平町松ヶ岡公園忠魂碑前に於て執行された。當日は前夜の珍らしい春雪で祭場は白雪に清められ、附近の樹々みな雪花に飾られて一段の淨を添へ更に凱旋將軍多門第二師團長を迎へて、第一層の意義を加へて、壯嚴なる神官僧侶の神詞讀經ありたる後、清治石城郡町支會長山崎在郷軍人聯合分會長に次いで來賓の多門師團長、本縣知事代理(兵事課長)步兵第二十九聯隊長、小島騎兵二聯隊長、千葉騎兵教導隊長若松大佐等の祭文終つて司令者から來賓、遺族一同その他在郷軍人、老兵會、赤十字、愛婦、

多門師團長 午後豫定表

多門將軍は別項の國防研究會發會式に臨席の後、午後一時

國防研究會發會式

けふ平第一校庭に 多門將軍を迎へて

青治平町長を會長とし在郷軍人分會を中心として設立された平國防研究會は六日午後一時から第一校庭に多門師團長を迎へて發會式を舉行、綱領、規約、役員選任の、ち左の如き決議をなした。一、國際政局の推移如何に拘らず一致團結して國難に趨き皇國使命の貫徹に邁進せんことを期す。

海軍志願兵検査

今年成績悪し 平町では合格僅か二名

石城郡平町管下の本年度海軍志願兵検査は三四の兩日、第三小學校で横須賀鎮守府附板倉徳正少佐により執行された。本年はさすがに非常時を反映して志願者は二百六十四名に上つたが成績は案外悪く合格者は四十四名であつた。平町では合格者は三十四名もあつた。この内豫備検査で十七名を差控し全部合格の豫想であつたところ僅かに左記二名が合格したのみであつた。草野正一、塚越經行

常識講座

十字架は古代フランスに其起源を發し、聖産や生類の象徴に用ひられ、たもの云はれ更にキリストの死後、廣く人に知られる様になつたが、獨逸の學者の研究には生類の象徴だとの説がある。

高月臺の學窓を 築立つ若人の群

磐中卒業生(共)

磐中第三十三回卒業式は七日午前一時から舉行されたが卒業生昨報以後の分左記の如し。◎は學業操行優良生徒、◎は在學五ヶ年間正副組長勤続生徒、◎は在學五ヶ年間精勤生徒。一、五十番順：白土三郎、◎須藤清、砂田實、鈴木功、鈴木清、鈴木至郎、鈴木仁、◎鈴木信一、◎鈴木辰一、◎鈴木武、◎鈴木忠、◎鈴木正、◎鈴木寛、◎鈴木保治、高岡博、高木一郎、高木幸三、高田七郎、◎高田正之、高田光雄、竹澤五郎、竹永勇夫、竹本邦明、◎立枝勝美、田中芳雄、田中純一、丹野五郎、築館光夫、鐵正三、戸井田元勝、戸田彦若、富岡甲斐、富岡信吾、富田行雄、豊田幸、◎内藤直直、中川勝巳、永久保良平、中島尚正、中島善夫、◎長瀬順平、◎中野竹義、中村浩、永山憲太郎、西山三郎、◎西脇健吉、根本馨、根本清、根本誠、◎野木啓治、野木茂、野木洋助、野口一磨、◎野崎弘、芳賀正康、◎箱崎達平、箱崎昌雄、橋本勇、長谷川周彦、平澤安男、蛭田仁、藤森一夫、◎船生泰治、逢來信浩、正木芳夫、◎増尾善則、松崎一美、◎松崎長十郎、松永政治、松房政之、眞根井孝門丸山五郎、◎萬歳一夫、三浦正松、水野茂樹、◎水野谷勝雄、宮川重教、◎三好彌太郎、村山正吉、最上五郎、◎森笠基雄、矢島久司、◎矢吹一徳、矢吹勇平、柳井正司、矢内忠一、◎山崎吉二郎、山名隆之、横山昇、吉田達平、吉田正三、◎吉田忠男、◎吉田孫助、吉田親夫、吉田好賢、吉田和九

二十歳も年下の男と 五十婆さん道行

平町に潜伏中押へらる

栃木縣茂木町農務員妻よ、陸地方災害地の人々にと夜具し(天)は同村の御詠歌仲間である佐藤元治(三)といふ二十歳も年下の青年とねんごろになり去月二十八日よは夫の貯金百五十四圓を盗み出して、匿れし平町十五丁目常陸屋旅館に夫婦取りで投宿中を六日平町署員に発見取押へられ、散々説教を食つた上家人に引渡された。

農會長會議

石城郡農會では十三日午前十時から郡下町村農會長會議を開き、明年度事業計議その他を協議する。

震災地へ寄附

今度も水難を免れたのだ、こに急いで津浪に浸はれてしまふ前の三陸の大津浪は明治廿九の年五月五日の節句の晩だつた、日清の役に第二師團は「ひし」を區別せざる如く最前に出征したので台湾守備氣仙沼地方では「し」と「ひし」を區別する必要がある。視察會は遅れて廿九年の五月節句に氣仙沼で開かれた、當日郡内の有志が氣仙沼に集つたが視察會の後二次會を開いて宿つた人は助つたが、堅た鋼、下駄を食つた蚊などがいて人と眞面目な人は夜道を家あつたので當時魚を食ふ人は

見聞した事

大森勇

私の生れ故郷は氣仙沼と云ふ田舎町で火事と津浪で有名な處である。氣仙沼の南北幾十ヶ町村は津浪に浸はれたが、その灣口に大島と云ふ島がある。

産業の常識

副業の常識 (三)
養鶏 東農大出身 鈴木技師

東農大出身 鈴木技師
而して此れ等の育雛器を使用するに際しては予め検査して置く必要があるもので其の要項は温源を炭火にするものは器内に炭酸瓦斯や煙が入り込まないか又はランプを使用するものは直接温原器に雛の体が觸れる心配はないか油煙の器内に浸入する虞れがないか其の外温度の調節換気が完全に行かずに就て調査し完全に出来てゐても更に炭火を用ふるものは初め一定の温度を保持するに困難であるからよく注意すべきである其の方法として上等の木炭を三寸位に切り火を點じて炭灰の火鉢の中央に埋め又燃焼の悪い炭はよく火が燃え移つて赤くなつたとき灰に埋めるのである、斯くして雛を入れる前に遺憾なく其の育雛器の操縦要項を体得し準備すべきである

二、輸送された仔付前の雛輸送籠の未だ到着しない前によく器内の保温を充分にし且つ器内、室内を暖かにして到着と同時に雛を此の中に收容するのである、輸送籠は假令人が注意して取扱つても生れると直ぐ汽車やその他で動搖が免れないから卵黄の吸収も先分でないのみならず非常に疲勞して来るものであるまして取扱籠の時は推して知るべきで幾ら元氣らしく見えても決して油断することなく一と先づ給餌は勿論給水もしないで直ちに斯して安靜安置させて疲勞を回復させなければならぬ

佛蘭西料理

レストラン サロン

平町田町 電 352

入院應需 藤沼醫院

電話五〇七番

平町

紺屋町

お醤油は

ヤマフル

醤油 味噌
たひら正宗
鯉節食料品



山崎合名會社

明治生命

代理店

山崎三郎

電話 本業部 二七〇番

難波醫院

院長 醫學博士 石山謙郎

自宅 電話二二四番

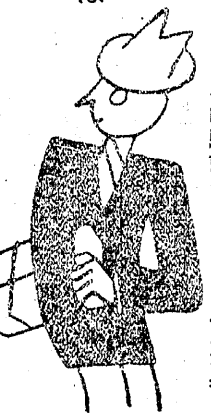
内科 醫學博士 石山謙郎
小兒科 醫學博士 佐久間粹
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂重次
喉科皮膚科 醫學士 有馬勇一
産婦人科 醫學士 五十嵐雄二
X光線科 醫學博士 石山謙郎
衛生試験所 醫學博士 石山謙郎
藥局 藥劑士 高後利雄

診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患はこの限りに非ず

磐城共濟會

電話 六四一番

模範裁縫 高島屋洋服店
平町驛前 電話 三八六番



洋服の御用命は 高島屋へ
!!! 新柄着荷 !!!

難波醫院

内科一般

醫學博士 難波睦

平町大町新川端 電話五〇二番

淋病最新藥

美神淋藥

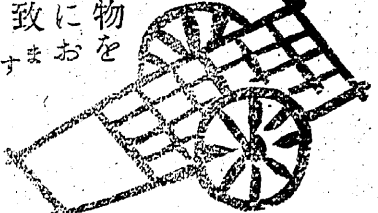
一週間分 四、五〇
二週間分 八、〇〇

代理店

山野邊藥店 平町五丁目

貸手車

新規物を格安にお譲り致します



半谷 平町大町若松醫院隣

ケン石ニカク

生命と信用を賭して精選せる純良の... 質と... 最後的一片が消え去る迄 雅な香が續く

お化粧用

お洗濯用

一ヶ 十錢
一ヶ 十錢
一ヶ 十錢

つるや

平町 4 電 140

安價で効果的な

天然加里肥

最も適應する作物!

蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが類

天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壌を悪化する虞は絶対にありません

一俵 三十錢

製造販賣 金成國雅

平町驛前 電話 六八八番

徒弟さんを募

和洋家具製作徒弟 十名
西洋塗徒弟 一名
椅子張徒弟 一名

資格

(一) 本年尋常又は高等小學校卒業の者
(二) 身体強健にして意志強固なる者
右希望者は自筆の履歷書に學校の成績表を添へて至急御申込みあれ

諸官衙學校會社御用達

株式 丸はん商店

製作所 平町三丁目 電話三五九番

雨露に晒す程 煙突は

朝日 煙突

石綿セメント製

絶対に 煙突は

経済的で 美觀の心配がよい

益屋商店

生徒募集

光輝ある歴史 堅實なる學風

磐城佑賢學舎

山城町 平

【香三九話電】

中等科 〔中等程度〕
女子部 〔高女程度〕
入學願書 四月四日まで